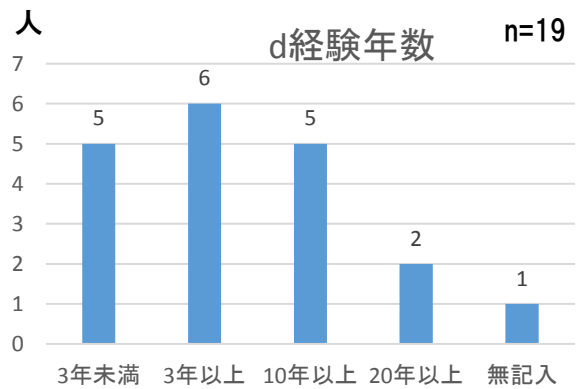
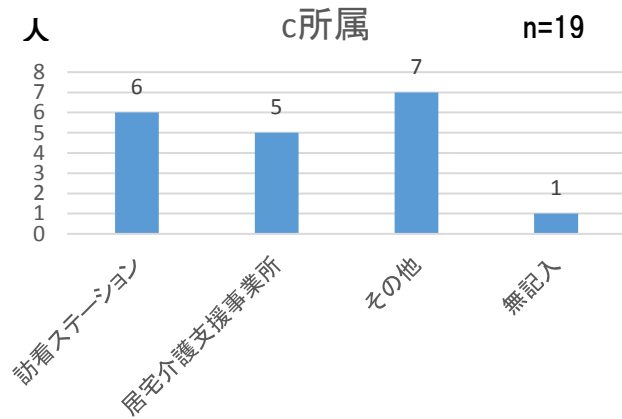
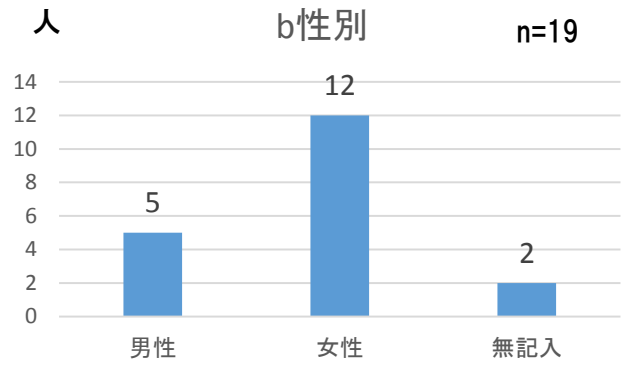
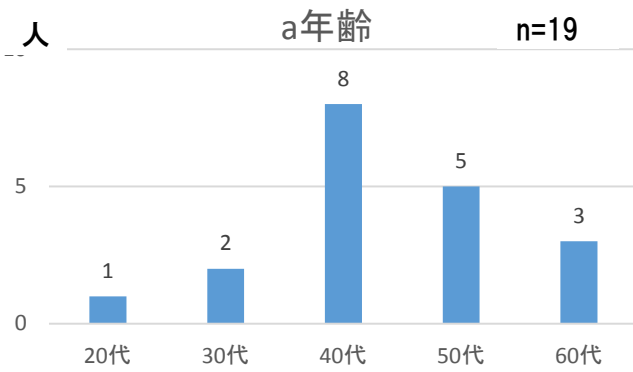
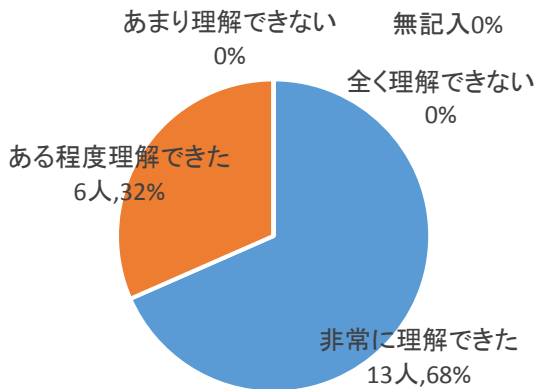


参加者 : 22人

回収 : 19人(回収率:86.4%)



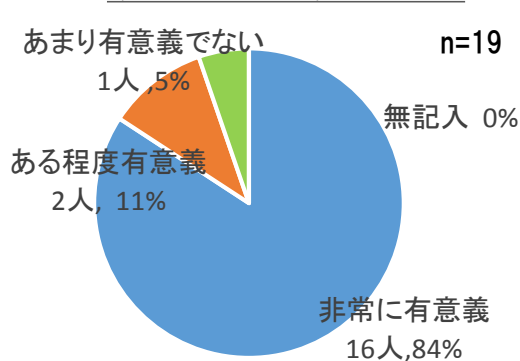
## 事例検討について n=19



### (理由)

- ・5か月間の経過が理解できた。
- ・多職種連携の在り方について非常に理解できた。
- ・全て理解するには、時間が足りなかった。
- ・医療、権利擁護、行政(民生委員・保健師)の理解が深められた。
- ・非常に興味深い事例であった。
- ・事例検討としてではなく、事例紹介としては十分理解できた。

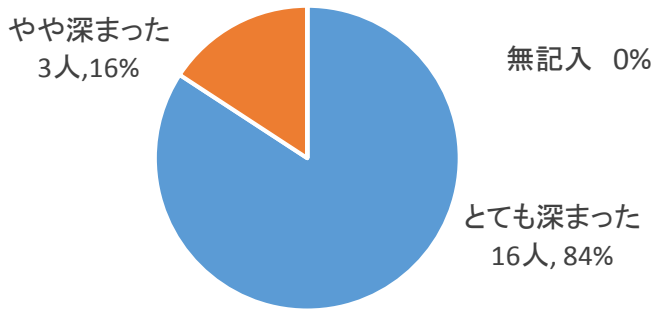
## グループワークについて n=19



### (理由)

- ・時間が無い中で本人の意向に添ったケアについて話し合えた。
- ・他の業種の意見が聞いて良かった。
- ・色々な意見を聞く事ができて参考になった。
- ・他の観点からの話をたくさん聞いた。
- ・他職種の方の意見が聞いた。
- ・色々な視点で物がみれた。
- ・実際に支援に関わった訪看さんの話が聞いて良かった。
- ・グループワークのゴール設定が曖昧なので、どこに落とし込んでいいか進行が難しかった。
- ・もう少し多職種(連携)を意識したことについて話し合えると良かった。

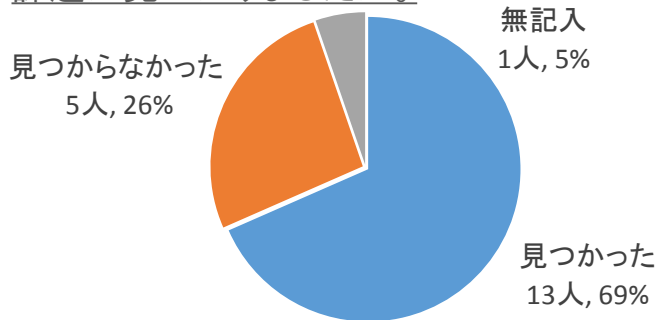
a 在宅医療困難と思われた末期患者の  
看取りについて認識が深まりましたか。 n=19



(理由)

- ・他職種との意見交換が出来た事でもっとサポート出来る事があったと思った。
- ・振り返りができ、考えさせられた。

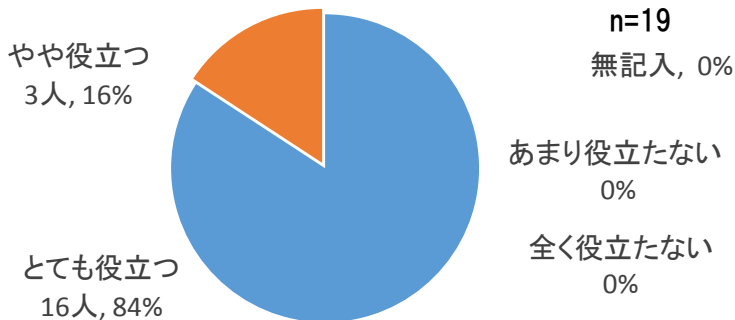
b 多職種との連携について  
課題が見つかりましたか。 n=19



(理由)

- ・自分たちでは思いつかない考えを知ることができた。
- ・もう少し考察する時間が欲しかった。
- ・携わる方全てとの連携を密に取っていく事の必要性が見つかった。

c 今後の業務に役立つと感じますか。 n=19



(理由)

- ・初めて知ることも多くとても役立った。

(ご意見・ご感想)

- ・事例検討会も医療面での研修を望んでいます。
- ・患者さんの気持ちに寄り添い看護されている姿に感銘を受けました。サービスに関わっていく人が意思統一して連携を取っていく事が大切だと改めて感じました。
- ・本人の意志を尊重し、寄り添うことが一番大切なことと再認識しました。
- ・ガンの利用者様がいらっしゃるの為に内容でした。
- ・他職種の方と交流ができて良かったです。
- ・なぜそこまで病院を嫌がり、自宅を望むのか、分からなかった。弟さんにもっと関わって欲しかったと思いました。(特に金銭面)